

特徴

キク科の1年草で、鮮やかな明るい色調は春を呼ぶ花として愛されています。寒さに強く丈夫で土壌の質も選ばない、初心者でも育てやすいのがカレンデュラの特徴です。花期も長く、ダークオレンジの元気の良い花を約半年間咲かせます。



育て方

【用土】

水はけがよければ土質は選びません。
赤玉土7 : 腐葉土3の割合で混ぜた土や草花専用の土を使いましょう。

【植え付け】

気温 20℃前後のときに、ポットまたはプランターに種が重ならないように種まきをし、種が隠れる程度に土をかぶせます。



【水やり】

土の表面が白っぽく乾いたらたっぷりと水を与えましょう。
気温が高く乾燥する時期はハダニがつきやすいので、葉にもたっぷりと水をかけて予防しましょう。極端な乾燥と過湿には気をつけます。



【間引き】

本場が2~3枚になれば間引きをします。
本葉が5~6枚になればポットから植えかえをします。

【追肥】

長期間花を咲かせ続けるので、1週間に1回は液体肥料を与えるようにしましょう。

【その他注意点】

日当たりのよい場所を選び、枯れた花はこまめに摘みとりましょう。

病害虫

ハダニ

病気

立ち枯れ病

心理効果

このお花を、育てよう(気になる)時は、社会性を重んじる時、他人に好印象を持ってもらいたい場合などに、オススメです。相手から、安心感をもってもらう事ができます。又、このお花を見ていると、形・色から食欲がたかまり、体内の細胞を浄化してくれ、新しい細胞を作り出してくれることでしょう。そして、庶民的で、親しみやすいお花ですので、おしゃべりに、花を咲かせたい時、空間演出されたい時にオススメです。

監修：華道 草月流師範 花セラピスト・インストラクター 中島 弘華(まこと)先生